

平成28年8月伊勢原市教育委員会定例会議事録

平成28年8月24日（水）午前9時30分から伊勢原市教育委員会定例会を第3委員会室に招集した。

1 出席した委員は次のとおり。

委員長	渡 辺 正 美
委員長職務代理者	永 井 武 義
委 員	重 田 恵美子
委 員	菅 原 順 子
教育長	鈴 木 教 之

2 会議説明のための出席者は次のとおり。

教育部長	谷 亀 博 久
学校教育担当部長	大 高 敏 夫
歴史文化推進担当部長	山 口 譲
教育総務課長	古清水 千多歌
学校教育課長	守 屋 康 弘
指導室長	石 渡 誠 一
社会教育課長	小 谷 裕 二
文化財課長	立 花 実
スポーツ課長	小 卷 宏 幸
教育センター所長	本 多 由佳里
図書館・子ども科学館長	麻 生 ひろ美

3 会議書記は次のとおり。

教育総務課 総務係長	瀬 尾 哲 也
------------	---------

4 議事日程

日程第1 前回議事録の承認
日程第2 教育委員長報告
日程第3 教育長報告

○

午前9時30分 開会

日程第1 前回議事録の承認

○委員長【渡辺正美】 日程第1「前回議事録の承認」をお願いいたします。

○委員全員 異議無く承認し、署名する。

日程第2 教育委員長報告

○委員長【渡辺正美】 日程第2「教育委員長報告」をいたします。

先日、平成28年8月9日火曜日、午後2時から神奈川県市町村教育委員会連合会の第2回役員会が大和市役所で開催されました。私と瀬尾係長の2名で参加してまいりました。

出席者は、連合会の役員になっております大和市や寒川市をはじめとする13の市町村の委員長、あるいは新しい制度での教育長、教育長職務代理者などです。その他に、事務局である大和市の部長以下の職員や、委員長等に随行してきた市町村の職員がおりました。

内容ですが、議題が2つございました。1つ目が資料1になります。連合会の研修会についてです。研修会の日程は、11月17日木曜日の午後2時から4時。会場は、大和市の芸術文化ホール。内容は、「学校図書館が果たす役割」ということで提案があり、協議、決定されました。

2つ目は資料を用意していませんが、来年度の連合会への負担金についてです。総額104万円を各市町村で人口割と均等割で負担します。伊勢原市の負担金は、本年度と同じ2万8千円です。この内容で決定いたしました。

議題は以上ですが、その他事項ということで、情報交換を行いました。今度の研修会のテーマであります学校図書館の話題があがり、いくつかの市町村が司書を配置しているとか、あるいは時間帯で司書を配置しているとか、または支援員を配置して学校図書館のレイアウト等を考えているところもありました。

次に中学校給食の現状に関する話題では、葉山町が平成31年9月からセンター方式で実施するとのことでした。その他にもいくつかの市町村から説明がございました。また、関連して給食費の未納対応の話になり、大和市では、子ども手当からの天引きを積極的に行っていることや、松田町では、教育委員会が積極的に対応しているとか、海老名市では、教育委員会と学校が連携して未納者対応を行っているといった話がありました。

情報交換については、各市町村の教育委員がそれぞれの事業について、部分的な話をされておりますので、何かあれば、各所管課で各市町村に問い合わせただければと思います。

そして、私からは情報提供として、伊勢原市の日本遺産について概要を紹介し、PRをしてきました。以上が役員会の報告ですが、何か御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。

○委員【永井武義】 情報交換会の議題につきましては事前に分かっていて、日本遺産に関して御準備をされていったのでしょうか。

○委員長【渡辺正美】 議事には情報交換は含まれていませんでしたが、せっかくの機会だからということで、司会者の進行のもと、会議に出席された方々がいろいろと話をされました。学校図書館の話題については、秋の研修で取り上げますので情報交換したということです。日本遺産の話については、せっかくの機

会なので、私から発言させていただきました。
では、他にないようでしたら、次に移ります。

----- ○ -----

日程第2 教育長報告

○委員長【渡辺正美】 日程第2「教育長報告」をお願いいたします。

○教育長【鈴木教之】 3点ございます。1件目が、28年度の全国学力・学習状況調査結果の取り扱いについて。2件目が日本遺産認定後の取組。3件目が情報公開の関係です。1件目は私から報告し、2件目、3件目はそれぞれの部長から報告をさせていただきます。

まず1点目でございます。資料2になります。1ページ目に、今後の考え方が全部整理されております。参考資料2は去年の資料でございます。

伊勢原市の結果でございますが、今後データを分析の上、例年どおり11月ないしは12月頃に公表したいと考えております。公表内容及び方法につきましては、1ページの中段に「今後の取扱い」とありますが、市としては基本的にはこれまでと同様に、1点目として、教育委員会による市全体の数値結果、そして分析・見解の公表。2点目としては、学校による説明事項ということで、各学校の結果の分析及び活用について、文章表記による公表。以上の2点について、市のホームページで公表いたします。取り扱いとしては従前と同様です。

市全体の公表内容等については、これまでどおり指導室で分析等を行います。各学校による結果の分析等については、各教科それぞれの調査結果の分析と考察を行いまして、「授業の充実に向けた重点的な取組」と「家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知ってほしい内容」という形で各学校が体裁を整えます。

取り扱いとしては、昨年と同様な形で進めていきます。以上でございます。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 それでは2点目の日本遺産認定後の取組について、私から説明させていただきます。

日本遺産認定後の一部情報提供ということで、6月の教育委員会定例会で、伊勢原市日本遺産協議会を発足したこと、文化庁の補助金を要望したことを報告させていただきましたが、本日は、その後の展開を説明させていただきます。

まず資料3-1を御覧ください。文化庁への補助金の申請書ですが、申請者については、伊勢原市からではなく、記載されているとおり伊勢原市日本遺産協議会から申請する仕組みになっております。

6月の教育委員会定例会で、要望額を約5,400万円とお示しさせていただきましたが、決定額ということで「補助金の交付要望額」覧にあります。4,127万8千円が確定額です。平成28年7月1日が確定日ということで連絡を受けております。

事業計画につきましては、次ページをお開きください。28年度の協議会の事業計画です。事業内容の1から4の項目は文化庁で設定したもので、1の情報発

信・人材育成事業、2の普及啓発事業、3の調査研究事業、4の公開活用のための整備に係る事業について、それぞれの項目に沿った形で事業計画を記載しております。

具体的な内容ですが、様式1-3を御覧ください。ここに取組に要する詳細な経費内訳を記載しております。内容的にはほぼ要望時と変わらないのですが、補助金の対象外となった部分があります。様式1-3の項番4の公開活用のための整備に係る事業のところで、大山の市営駐車場の満空表示システム550万円を要望しておりました。現状では大山の市営駐車場がいっぱいなのかどうか、上に行ってみないと分からないといった状況ですので要望したわけですが、これについては市が行う内容だということで、補助対象外になりました。その他の取組は全て補助対象と認められていますが、補助金の確定額に合わせた形で適宜手直しをしたと御理解いただければと思います。内容には細かく触れませんが、今説明しましたとおり事業計画及び個別の取組を計画しております。

また、最後のページに、伊勢原市日本遺産協議会の情報を提示しております。会長は伊勢原市長、役員構成団体としては、伊勢原市を含め全部で20の団体で構成しております。協議会の設置目的として、本市固有の歴史文化を物語る日本遺産を通じた文化遺産保護、観光振興、まちづくり等を行うことで、地域の活性化を図ることを掲げております。

それでは、次に資料3-2を御覧ください。日本遺産の認定、協議会が設置されてから現在までの主な取組を説明させていただきます。

まず、御承知のとおり、平成28年度教育講演会とあわせて日本遺産シンポジウムを開催いたしました。内容的には、7月26日火曜日の午後2時から伊勢原市民文化会館大ホールで、「日本遺産のまち伊勢原～歴史や伝統文化を通じた人づくりとまちづくり～」をテーマに開催いたしました。主催は伊勢原市教育委員会、共催が伊勢原市PTA連絡協議会と伊勢原市日本遺産協議会となっております。参加者は701名でした。協議会の関わりとしては、協議会の経費を使って舞台の看板と入り口の立て看板を作成いたしました。

アンケートの結果ですが、シンポジウムに参加する前の状況をお尋ねしました。日本遺産という制度を知っていましたかという問いに、「知っていた」が65.5%、また、伊勢原市のストーリーが認定されたことを知っていましたかという問いには、「知っていた」が68.2%となっております。反対に33.6%の方が日本遺産の制度自体を「知らなかった」、31%弱の方が日本遺産に認定されたことをご存じなかった状況でしたが、その方々がシンポジウムに参加していただいて、御理解いただけたと思います。シンポジウムに参加した後の感想として、「良かった」「まあまあ良かった」を合わせますと、合計88.8%の方が、参加して良かったという感想をお持ちいただいております。感じたり、思ったりしたことをお聞かせくださいという問いには、答えを複数用意し、複数選択可とした形でお答えいただきました。全体の57.2%の方が「伊勢原市の歴史や文化財のことを再認識した」と答え、また、「日本遺産の認定を生かして伊勢原を活性化すべきと思った」と全体の半分の方がお答えいただきました。以下、「貴

重なる文化遺産を大切に後世へ引き継ぐべきと思った」「学校の授業でも日本遺産を取り上げるべきだと感じた」「伊勢原市が日本遺産に認定されたことをうれしく思った」といった順の結果となっております。

次にもう1つの大きな取組としまして、8月11日木曜日「山の日」に、日本遺産認定記念「山の日イベント」を大山阿夫利神社社務局から下社までのエリアで開催いたしました。

主な実施内容ですが、資料の2ページを御覧ください。開催イベントの1つ目として、大山インフォメーションセンターでロボットによる観光案内を行いました。これは、日本遺産のストーリーをロボットが読み上げて説明してくれるものです。2つ目として、日本遺産認定記念巡回展示会を開催し、日本遺産のパネル展示や実物の納め太刀、行衣等の展示を行いました。3つ目として、日本遺産認定記念イベントとして、構成文化財になっております倭舞・巫子舞、大山狂言の上演をしていただきました。4つ目として、伊勢原市青年会議所主催の「大山詣り納め太刀2016」が行われ、納め太刀の奉納体験として、協議会で作成したミニチュア納め太刀を貸し出し、参加者の皆さんに社務局から下社へ持って登っていただき、拝殿の前のさい銭箱の左右に納めていただきました。なお、納め太刀は回収しリユースいたします。5つ目として、下社イベントということで、資料に記載のとおりさまざまな催し物が開催されました。6つ目として、「大山“山の日”スイッチ」ということで、「スイッチ総研」という劇団がありまして、モータープールから大山ケーブル駅の間の11カ所で大山や日本遺産にちなんだ話の寸劇を上演していただきました。

協議会の事業としては4つありまして、のぼり旗を作成し、駅北口や商業者の御協力によって商店街に山の日を祝うのぼり旗を立てていただきました。また、先ほど説明しました巡回展示会、倭舞・巫子舞、狂言の上演、ミニチュア納め太刀178本の貸し出し、「スイッチ総研」による寸劇上演、これらのイベントを協議会の予算で実施しております。今後も、日本遺産巡回展示については、(仮称)郷土資料館のほか、比々多神社や宝城坊にもお願いして展開していきたいと考えております。

その他のPR活動としては、雑誌「旅行読売」「一個人」への掲載、布まねきの作成。また、波及効果による民間企画として、大山詣りのオリジナルフレーム切手を日本郵便株式会社で作っていただき、既に完売しています。その他にも「不動産証券化ジャーナル」への掲載や、「家庭画報」という雑誌が日本遺産をテーマとして掲載したいとのことで、取材を受けている最中です。

最後になりますが、視察の受け入れということで、8月16日に静岡県掛川市の方々、本日も北海道の江差町の方々が2泊3日で視察にお出でいただいております。以上、認定後の取組ということで御報告させていただきました。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　続きまして教育長報告3の、情報公開審査会への諮問について報告いたします。

当該案件につきましては、平成26年度の体罰に関する報告書に係る公開請求に対する一部公開の決定を不服として、4月26日付で審査請求されましたこと

を5月定例会で報告しております。

審査請求人の7月19日付の審査請求書の修正等を経て、情報公開条例第17条の規定に基づき、7月28日付けで情報公開審査会の諮問をいたしましたので、伊勢原市教育委員会の所管に係る伊勢原市情報公開条例施行規則第4条第2項の規定に基づき、教育委員会議に報告するものでございます。

公開請求に対しましては、情報を公開することにより被害を受けた児童や教職員個人の特定がなされ、教育活動に支障が出るおそれがあるため、一部公開といたしました。情報公開審査会においても引き続き被害児童や教職員個人を識別することができる情報については、非公開事由に該当するとの認識のもと、情報の一部公開の維持を求めています。以上でございます。

○委員長【渡辺正美】 これまでのことに関しまして御意見、御質問などがございましたらお願いいたします。

○委員【菅原順子】 山の日イベントにいらっしゃった方々の地域の方と外部の方の割合というのは分かっていますか。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 割合までの分析はしていませんが、一つ言えるのは、地元の方は知っている内容なので、興味がないのかなと思っていましたが、意外と近所の方たちが展示会場にお出でになり真剣に見ていらっしゃいました。

○委員【菅原順子】 この、ロボット先導師の「パルミ」は、今はどうしているのですか。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 市民の方ですが、個人の方の持ち物で、その方が協力して展示していただいたので、現在はその方の所に戻っております。

○委員【菅原順子】 何かイベントがあると貸してもらえるわけですか。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 市に対して協力的な方ではあります。

○委員長【渡辺正美】 他によろしいですか。

では、私から1件。教育講演会で日本遺産シンポジウムを兼ねて行ったわけですが、シンポジウムに参加する前の状況で、3割位の方が日本遺産についてあまり認識していなかったという数字が出ています。4月以来、学校への紹介をはじめ、さまざまな情報提供をしています。これが現状であろうと思います。今後もしろいろな機会を通じて情報発信をしていくしかないのかなと思いますので、よろしくお願いたします。それでは、よろしいでしょうか。

----- ○ -----

その他事項

○委員長【渡辺正美】 委員の方から何かございますか。無いようでしたら事務局からお願いいたします。

○スポーツ課長【小巻宏幸】 それでは、その他事項ということで、(1)から(3)はスポーツ課が所管しておりますので、続けて報告させていただきます。

その他事項（１）クルリン健康ポイント事業について報告いたします。資料４になります。既に５月の定例会の教育長報告で御案内させていただいておりますが、クルリン健康ポイント事業がよいよスタートいたします。事業内容が決定し、募集チラシ等を作成、配布しておりますものを今回資料としてお配りさせていただきました。「さあ 歩こう！元気で長生き その一歩」をキャッチフレーズに、日ごろあまり運動を行わない方や、健康づくりに対し関心・必要性は感じているもののなかなか行動に移せない方、運動を始めたけれど継続できない方等で、二十歳以上の市民を対象に、８月８日月曜日から参加募集を開始しております。昨日８月２３日現在で、定員２００人に対しまして１４８人の応募がございます。

ポイント事業の実施期間は９月３日土曜日から来年３月１１日土曜日で、ポイントの付与期間は２月１１日までとなっております。事業の日程はチラシに記載しておりますので、後ほどお目通しいただければと思います。

事業の概要については、参加者に無料で歩数計を貸し出し、歩いた歩数に応じてポイントを付与します。また、市主催の健康事業やスポーツ・体力づくり事業、また地域で実施する住民体育祭等をはじめとしたスポーツ大会や教室等に参加した場合や、個人で立てた目標を実施した場合もポイントを付与いたします。獲得したポイントに応じて、健康グッズやクルリングッズを提供します。また獲得ポイントの上位者には賞状と記念品、さらには参加者全員に対し抽選会を行い、市特産品や健康グッズ等をプレゼントするインセンティブ事業となっております。

９月３日の事業の初日と来年２月１１日に、参加者に体組成や体力度測定をしてもらい、歩数に応じた体の変化値等を分析・評価するとともに、アンケート調査を実施し、運動や健康事業の推進に活用していきたいと考えております。

続いて（２）すこやか少年少女スポーツフェスティバルについて報告いたします。資料５をご覧ください。市内で活動している少年少女を一堂に会し、スポーツを通して交流を深めるとともに、スポーツの楽しさや喜びを味わい、体力の向上に寄与する目的で、毎年この時期に実施しております。主催は教育委員会とスポーツ少年団となっております。

開催種目は、陸上競技、少年野球、少年サッカー、バレーボール、剣道、フットサルの６種目となっております。競技日程につきましては、総合開会式を８月２７日土曜日の午前８時３０分から総合運動公園の自由広場で開催いたします。その他の種目・競技においては、資料記載のとおり順次進めてまいります。

続いて（３）平成２８年度地区・学区住民体育祭の日程について報告いたします。資料６を御覧ください。毎年この時期に各地区の体力づくり振興会が中心となり、住民体育祭が開催されます。９月１８日の日曜日には大山地区体力づくり運動会が、大山小学校の運動会と合同で開催されます。その他の地区・学区につきましては、１０月９日の日曜日にそれぞれの会場で開催されます。開始時間、雨天時の対応については資料に記載のとおりでございます。スポーツ課からは以上でございます。

○指導室長【石渡誠一】 それでは（４）平成２８年度伊勢原市中学校部活動

大会結果でございます。資料7を御覧ください。夏の大会につきましては、前回の会議でもお知らせいたしましたが、7月の市内大会から始まり、中ブロック大会、県大会、関東大会、全国大会へとつながります。そのうち県大会以上、関東大会、全国大会の結果をお知らせいたします。

今年度、全国大会に出場した競技ということで、1ページ目の上段になりますが、水泳競技に2名の生徒が3種目に出場いたしました。関東大会につきましては、水泳競技に5名、バレーボール競技に12名ということで、団体、個人を含めて17名の生徒が出場いたしました。結果については資料に記載したとおりですが、各選手は最後まで粘り強く頑張ったということを引き率した教員から報告を受けております。以下、資料の裏面に県大会に進出した競技の結果を記載しております。資料2枚目の中段以降につきましては、吹奏楽、合唱部のコンクールの結果を記載しております。例年どおり、全国大会、関東大会に出場した選手、登録メンバーに対しまして、伊勢原市から中体連に交付金という形で生徒の旅費等を助成する事業を実施いたしました。以上でございます。

○教育センター所長【本多由佳里】　　続きまして(5)、(6)につきましては教育センターから報告させていただきます。

まず(5)第23回伊勢原市教育センター研究発表会の報告でございます。資料は本日お配りしております資料8を御覧ください。8月17日水曜日に開催いたしました。内容につきましては、姉妹都市ラミラダ市教育視察研修派遣の報告と、指定課題別調査研究と自主課題別調査研究から各1本ずつ発表をしていただきました。記念講演は、横浜国立大学名誉教授、高木展郎先生を講師にお招きしまして、「学習指導要領改訂における授業づくりの在り方とその意味」という演題で御講演をいただきました。当日は、小中学校の教職員及び教育関係者を含め106名の参加をいただきました。参加者のアンケートでは、これからの教育活動に役立つ研究会だったと好評をいただくことができました。教育委員の皆様にも御参加いただきまして、本当にありがとうございました。なお、指定課題別調査研究の支援教育に関する部会は、10月14日に開催される第63回神奈川県教育研究所連盟教育研究発表大会においても発表する予定となっております。

続きまして(6)平成28年度姉妹都市ラミラダ市教育視察研修の派遣研修員について報告させていただきます。資料9を御覧ください。去る7月29日に、視察研修事業実施要領及び審査会実施要項に基づき審査会を開催し、学校長から推薦のあった2名について、学校教育担当部長、指導室長、教育センター所長の3名で論文審査をいたしました。その結果、研修派遣の目的が達成できる内容に値すると判断し、桜台小学校と伊勢原中学校の教諭2名を研修に派遣することを決定いたしました。派遣期間は10月24日月曜日から10月31日月曜日です。報告会につきましては、平成29年の夏に開催予定の教育センター研究発表会で行うこととしております。以上です。

○教育総務課長【古清水千多歌】　　次回9月の教育委員会定例会の日程についてお知らせいたします。平成28年9月27日火曜日、午前9時30分から市役所3階第2委員会室での開催となります。以上です。

○委員長【渡辺正美】 これまでの報告で何かございますか。

○教育部長【谷亀博久】 私から9月議会の一般質問について報告させていただきます。本日正午が通告の締め切りになっており、まだ3名の議員から出されていないという状況ですが、現時点でどのような質問が出ているかを報告させていただきます。

まず日本遺産について、田中議員、前田議員、館議員の3人から出ております。その他、相馬議員からは市長の政治姿勢という中で、中学校給食についての質問、橋田議員からは学校図書館、山田議員からは大田ふれあいセンターと大田公民館の機能統合、八島議員からはスポーツ振興と通学路、土山議員からは職場体験学習、横田議員からは公共施設灯具のLED化、宮脇議員からは就学援助、川添議員からはLGBTの教育機関での対応が出されています。答弁の概要については、次回の定例会で報告させていただきます。以上です。

○委員長【渡辺正美】 では、よろしいでしょうか。

それでは、本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

----- ○ -----
午前10時10分 閉会

《会議配布資料》

- 資料 1：平成28年度神奈川県市町村教育委員会連合会第2回役員会について
- 資料 2：平成28年度全国学力・学習状況調査結果の取扱い
- 資料 3-1：日本遺産認定後の取組
- 資料 3-2：平成28年度教育講演会・日本遺産シンポジウム／山の日のイベント開催結果
- 資料 4：クルリン健康ポイント事業
- 資料 5：すこやか少年少女スポーツフェスティバル
- 資料 6：平成28年度地区・学区住民体育祭日程
- 資料 7：平成28年度伊勢原市中学校部活動大会結果
- 資料 8：第23回伊勢原市教育センター研究発表会の報告
- 資料 9：平成28年度姉妹都市（ラミラダ市）教育視察研修派遣について

《その他配付資料》

- ・平成28年度第1回伊勢原市総合教育会議議事録
- ・教育委員会関連主要行事一覧（平成28年9月から10月）
- ・子ども科学館ニュース vol.121
- ・教育時評（平成28年No.39）
- ・時報 市町村教委 No.263